



きょうそうきょく

協奏曲

～コンチェルト～

協・競・響

★社会人に学ぶ その3

atelier niko
パティシエ 入船 和紀さん



入船先生の人生はとても充実していいなあと思いました。特別なことをしなくても「やってみたい」「やりたい」という気持ちがあればできる仕事なんだと驚きました。(6組 池田 華音さん)

ネットトヨタ南九州
店長 松永 陽一さん



販売の仕事など、お客様にうれしいと言われてもらえることがやりがいだという話を聞いて、改めて仕事のやりがいはお客様に関することなんだと感じました。(3組 末永 蓮さん)

KTS鹿児島テレビ
アナウンサー 美川 愛実さん



「アナウンサーは常に課題を与えてくれる仕事」という言葉が一番心に残りました。今できることを精一杯やって自分に自信がもてるようになります。(4組 園田 彩乃さん)

「働く」とは…

働く→はたらく→傍(はた)をらくにする
→そばにいる人を楽にする

(NIKKEI STYLEの記事より)

これは、語源ではありませんが、「働く」という言葉の一つの解釈です。今回の総合的な学習の時間の学習を通して、「自分は何のために働くのか…」と考えた人もいるのではないのでしょうか。自分が働くことで、他者の負担を軽くしてあげる、楽にしてあげる、つまり、働くことで人とつながり、誰かのために役立っているという実感を得られることが「働く」ことの意味なのかもしれません。

お忙しい中、みなさんのために時間をかけて準備してくださったのが伝わってくる講座でした。ありがたいですね。ぜひ、今後の進路選択に生かしていきましょう。

世界は誰かの仕事でできている